



令和4年度

日本自然保育学会

第7回大会企画

無料公開イベント

令和4年度国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」助成事業のため一般参加が可能です

12月3日(土)

オンライン開催 基調講演・大会シンポジウム

13:00~
基調講演

基調講演

これからの持続可能なライフスタイルへむけた
体験型の幼児教育「森のムツレ」アプローチ

14:50~
シンポジウム

シンポジウム

SDGsの視点から自然保育を問い直す

～スウェーデンと日本の保育実践及び環境教育思想の比較から見えてくるもの～



主催：日本自然保育学会 日本自然保育学会第7回大会実行委員会
後援：日本環境教育学会 日本野外教育学会 こども環境学会

この事業は令和4年度国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の交付金による助成事業です

基調講演

スウェーデン・クリスチヤンスタッド大学

ライラ・グスタフソン 氏

1982年より、公認ムツレリーダーとして、4～6歳の子どものグループと野外活動を行う。
1989年、スウェーデンで2番目となる「1Ur och Skur（雨の日も晴れの日も野外就学前学校）」を開校、その後15年間、校長を務める。
1996年、森のムツレを基本理念とする小学校を開校。
2008年、学位論文提出。以後、クリスチヤンスタッド大学において、野外教育及び環境教育の分野で教鞭をとっている。
著書『雨の日も晴れの日も：持続可能なライフスタイルの実践のための体験型学習』



シンポジウム



パネリスト

仙田 考 氏

こども環境学会代議員、田園調布学園大学子ども未来学部子ども未来学科・大学院人間学研究科子ども人間学専攻 准教授。英国レディング大学大学院園芸・ランドスケープ学専攻博士課程修了。PhD。専門は保育内容環境、自然保育、子ども環境、校庭・園庭環境のデザイン・創生・環境構成、環境デザイン。

パネリスト

増田 直広 氏

日本環境教育学会理事、鶴見大学短期大学部保育科講師。
埼玉大学大学院教育学研究科修了後、公益財団法人キープ協会に入職し、環境教育指導者養成や部門統括などを担当。
2021年4月より現職。専門は環境教育、インタープリテーション、自然体験活動、持続可能な地域づくりなど。



パネリスト

瀧 直也 氏

日本野外教育学会理事、信州大学教育学部野外教育コース准教授。信州大学大学院教育学研究科修了。専門は野外教育。主に、青少年の自然体験活動の教育的効果や長野県における学校登山の教育的効果について研究。



ファシリテーター

山口 美和

日本自然保育学会理事
上越教育大学大学院教授

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

■参加お申込みフォーム <受付 11/26まで>

こちらは基調講演とシンポジウムのための申込みとなります。



自然保育学会の全体プログラムのご案内

2022年12月3日(土)・4日(日)

大会テーマ

SDGsの視点から自然保育を考える

※有料で一般の方も大会全体へのご参加が可能です。

大会日程

【1日目】12月3日(土)

9:00-9:15 開会式
9:15-11:20 口頭発表1
11:30-12:00 総会
12:00-13:00 昼休み
13:00-14:40 基調講演
14:50-16:50 大会企画シンポジウム
17:00-18:30 ラウンドテーブル

【2日目】12月4日(日)

9:15-12:00 口頭発表2
12:00-13:00 昼休み
13:00-15:00 自主企画シンポジウム
15:00-15:10 閉会式

大会全体への参加は、別途申し込みが必要です。👉

日本自然保育学会 第7回大会実行委員会 事務局

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地

上越教育大学大学院発達支援教育実践研究コース幼年教育領域内 山口研究室

TEL 025-521-3341 (研究室直通) / E-mail shizenhoiku7th@gmail.com

大会全体のHPサイトです。
全体への参加申し込みは
こちらより➡

